

平成31年度（令和元年度）第2回嘉麻市立図書館協議会 会議録

1. 審議会等の名称 平成31年度（令和元年度）第2回嘉麻市立図書館協議会
2. 開催日時 令和元年12月9日(月)午後2時00分～午後3時23分
3. 開催場所 夢サイトかほ 大研修室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者
 - (1) 委員
 - ・下川和彦委員・和田秀美委員・伊藤久枝委員・松尾正剛委員・近藤俊彦委員
 - ・古賀稲子委員・坂口清春委員・添田民子委員・春口香委員・松村隆毅委員
 - (欠席)・・・なし
 - (2) 執行機関
 - 生涯学習課
 - ・課長 末永康洋・課長補佐（図書館長）上野智裕
 - ・図書館係長 山本博子・図書館係 藤原千晶（図書司書）・図書館係 安藤かよ子（臨時職員）
6. 傍聴人数 0人
7. 議題
 - (報告)
 - 1) 教育委員会点検・評価結果報告（平成30年度事業分）について
 - 2) 平成31年度事業報告について
 - 3) 会計年度任用職員制度について
 - 4) 令和2年度嘉麻市立図書館事業計画（案）について
 - 5) その他
8. 審議の内容

(会議録の確認者の決定) → 近藤委員に決定

 - 1) 教育委員会点検・評価結果報告(平成30年度事業分)について・・・原案のとおり承認
資料に基づき事務局から補足説明を行った。

(説明要点)

 - ・嘉麻市立図書館協議会を代表して会議に出席された伊藤委員からも報告していただいた。
 - ・図書館の業務については点検評価委員の皆様にも概ねご理解いただいた。貸出冊数等が減少傾向にあることも、人口が減少傾向にある現状も含めて考えた場合、評価も変わるのではないかと、また移動図書館車は好評であり、利用も増加傾向であることから、保育園や幼稚園、学校等だけでなく、希望の多い地区への運行も検討してはどうか等の意見をいただいた。

(質疑)

- ・特になし

2) 平成31年度事業報告について・・・原案のとおり承認

資料(平成31年度事業報告)に基づき補足説明を行った。

(説明要点)

- ・2ページ基本目標は昨年に引続き、既存の図書館利用者はもとより、今まで図書館を利用されたことのない市民に対し、図書館サービスや各種事業の積極的な啓発を行うこととしている。特に第2次嘉麻市子ども読書活動推進計画に基づき様々な事業を開催することとしている。また「嘉麻市立図書館基本計画」に基づき将来的な学校図書館と公共図書館の統合を見据えた取り組みの検討を行うこととしている。
- ・図書館利用の促進として、今年度から新しく高齢者サービスの充実を挙げている。
- ・ウェブ予約について、今年度4月から在架予約も可能とし、環境を整えている。
- ・図書館事業としては、ブックスタートのフォローアップ事業を年2回開催としている。夏休み子ども向けイベントにおいて、新規事業として夏休み調べ学習を支援する事業を計画している。

(質疑)

- ・大人のおはなし会は、年度ごとに時間を変えて開催したが、参加者の年齢層や人数、意見等はどうか。夕方や夜の開催も検討してはどうか。

⇒どちらも参加者数は50名弱であり、年齢層についてもあまり変わりなく60代、70代の方に多く参加いただいている。図書ボランティアの方からは昼間の方が参加しやすいとの意見もいただいた。一人ひとり状況が違うが、去年より参加率は上がっていること、また夜はバスも動いておらず、安全性の面からも昼開催の方がいいのではないかと思っている。

- ・夏休みイベントについては、チラシを配布し電話で申込みということで、山田図書館の調べ学習については子どもが学校からチラシをもらってきて2日後に申込んだが、定員を超えており申込みできなかった。嘉穂図書館の工作会は抽選だったが、山田図書館の方は先着順で申込み終了だった。また1日図書館員の低学年の応募数は30年度も高かったと思う。希望者がより参加しやすいよう申込みや開催状況等工夫して頂けると良いと思う。

⇒山田図書館の夏休みイベントについては、申込みが予想以上に多く、あっという間に埋まってしまった。内部的な反省会でも抽選にした方がよかったという意見が出ていた。来年度以降は公平に抽選にしたいと思う。また、1日図書館員の定員についても検討していきたい。

- ・他部署との連携事業でとても良い事と思う。図書館でいろいろな事業をやるということをどんどん進めていただきたい

・来年度から司書の雇用形態が会計年度任用となるが何か具体的な対策はあるか。
⇒令和2年から会計年度任用職員制度が始まる。専門的知識を持った図書司書は必要であるため、人事秘書課と協議を行っていく。

・稲築の学校図書館と稲築図書館はどうなるのか。
⇒新庁舎が来年3月に竣工して稲築庁舎、公民館、住民センターは除却が決定している。ただし除却を予定している公民館、図書館機能をどうするかについては、財政当局と経費について協議中である。我々教育委員会としては、同じような場所に同規模の機能を要求しているが、単独の館は難しいと言われている。そのような状況の中で、小中一体校の中にコミュニティゾーンを設けて、そちらに公民館、図書館機能を入れてはどうかと考えており、何とか着地点を探している所である。稲築地区には嘉麻市の約半数の住民がおられるため、市民の要望である図書の貸出等の業務が撤退することはあってはならないと考えている。

3) 会計年度任用職員制度について

(説明要点)

・図書司書は現在週5日勤務であるが、週4日になることでローテーションが厳しくなる。財政の査定が1月15日にあり、会計年度任用制度の募集が12月から1月末です。査定の後、財政が人員を減らせということならば、来年度の事業計画に大きく影響してくる。現在在籍の司書については継続の返事が保留の方もいる。募集期間が終わって人員が足りないということになれば、図書司書を希望していない会計年度任用職員に声掛けをしていくことや、いったん辞められた方に声掛けをする等、今年度中に対応しなければ厳しいと思っている。また勤務時間が短くなることから、今年度と同様の業務であれば負担がかかるため、現職の図書司書に面談を行い、事業の見直し等の負担のかからないような条件を伝え、引続き勤務していただけるようお願いしたいと考えている。今年度中には人員が確保できるよう鋭意努力していきたいと思っている。

・会計年度任用制度に伴う、来年度からの図書館運営の変更について説明。
開館、閉館時間について、現在山田図書館及び稲築図書館において金曜日と土曜日は延長し、19時閉館としているが、全て18時閉館とする。また勤務時間については現在A勤務(8:30~17:00)とB勤務(9:30~18:00)、山田、稲築については金曜日、土曜日のみC勤務(10:30~19:00)でローテーションを組んでいるが、平日は18時閉館のため全てB勤務のみ、日曜祝日は17時閉館のためA勤務のみとすることを説明。

(質疑)

・学校も来年度学校司書がきてくれるか心配している。
・開館時間の考え方だが、こういう対応でなくてはダメになるかもわからないということなのか、この形でやって行くということなのか。
⇒勤務時間と日数については7時間45分週4日勤務でお願いしようと考えている。
現状の人数では難しいので増員2名を要望し、開館時間を変更することで対応して

いく。最低限10時開館、18時閉館は維持していきたいと考えている。それでも難しい場合は開館時間を短縮する、又は休館日を増やす等何らかの対策を考えなければならないと考えている。

- ・人件費を削ろうとしているのに、増員要求をしても通るわけがないのではないか。
- ・図書館というのは、赤ちゃんからお年寄りまで、学び取って一人の人間として大きく成長する過程になる場所でもある。そのことは行政の方も忘れないで欲しい。図書館協議会としても、それを踏まえて図書館サービスを低下させない様に、市民として、利用者として意見を出していきたい。
- ・頼りにしている司書の方が辞められるのが一番不安だ。図書館で働く人が意欲をなくさない様にして欲しい。ひいてはそれが住民サービスにつながると思う。

4) 令和2年度嘉麻市立図書館事業計画（案）について・・・原案のとおり承認
資料（令和2年度嘉麻市立図書館事業計画（案））に基づき補足説明を行った。

（説明要点）

- ・会計年度任用職員制度開始により、職員の勤務体制等不明な点が多いため、事業は5月以降で行うこととしている。

（質疑）

- ・読書バリアフリー法という新しい法律ができており、政令指定都市と県立図書館には文書がきている。対象は図書館だけではないが、障がいのある方に対するサービスで、だれでも学べる、読書できる環境を整備していくというもので、それができる体制づくりが必要だという課題もある。

⇒検討していく。

5) その他

特になし

9. 配布資料

- ・平成31年度（令和元年度）第2回嘉麻市立図書館協議会次第
- ・資料1 嘉麻市教育委員会点検・評価結果報告書（平成30年度事業分）（抜粋）
- ・資料2 平成31年度事業経過報告
- ・資料3 令和2年度 嘉麻市立図書館事業計画表(案)

上記に相違ないことを確認する。

令和2年1月9日

会議録確認者

近藤 俊彦